

第22回 全国社協職員のつどい 和歌山大会



令和7年 **11月22日（土）～23日（日）**

1日目13:00～17:30・2日目9:30～12:15

メイン会場 **海南nobinos(ノビノス)**

和歌山県海南市日方1525-6

サブ会場 **海南保健福祉センター**（海南市社会福祉協議会）

和歌山県海南市日方1519-10

大会テーマ



開催趣旨

コロナ禍を経て私たち社協職員が大切にしてきた「つながり」が希薄化し、社会情勢が変化する中、地域が抱えている福祉課題も複雑多様化しています。

そんな中、私たち社協職員は何のために誰のために業務に向き合っているのでしょうか。目の前の業務に追われ、社協の軸である協議をベースとした、住民主体による福祉のまちづくりの実践に真摯に向き合うことが難しくなっていないでしょうか。

まちづくりを推進する団体や社会福祉法人・専門職も地域福祉を担う時代になり、社協職員はどんな立ち位置で地域に対して何を示しているのでしょうか。

『社協基本要項』が改定された今年、社協とは、社協職員の在り方とは何たるかを問うために、全国の社協職員が「つながり」「学び」あえる場を目的として開催します。

つどいFBページ

主催：関西社協コミュニティワーカー協会

第22回全国社協職員のつどい和歌山大会実行委員会

共催：社会福祉法人 海南市社会福祉協議会

協力：和歌山県市町村社協連絡協議会 協賛：株式会社 五大オーエー



1日目 11月22日(土) 13時～17時30分



12:30 13:00 13:20 15:00 17:30 18:30
 受付 開会 全体会① 分科会① 1日目 懇親会
 終了 (任意)

全体会①

社協職員の他にも、自由に楽しくスピーディに、当事者性をもって地域をフィールドに活動する人たちがいます。そんな中で、社協職員はどんな立ち位置で共に進んでいくべきなのでしょう。

所属は違えど、暮らしと地域社会、そして自分自身に向き合い、夢をもつ三者が語られます。お互いの思いや活動を尊重し、よりよい地域社会をつくるために、社協職員としてこれからどう行動していくか、未来志向で考える時間にしましょう。

登壇者 天晴プロジェクト 代表 上田洋平氏 (和歌山県紀の川市)
 一般社団法人 Social Reform 代表理事 三林達哉氏 (和歌山県和歌山市)
 社会福祉法人 有田川町社会福祉協議会 総務副主任 谷口友紀氏 (和歌山県有田川町)
 コーディネーター 佛教大学社会福祉学部 准教授 金田喜弘氏

2日目 11月23日(日) 9時30分～12時15分頃

和歌山は餅まきの聖地

9:30 11:00 12:05 12:20頃
 分科会② 全体会② フィナーレ 餅まき 全日程
 終了



もちり企画(参加任意)

参加者の皆さんが次の「もちり」をしてくださると、非常に喜び、盛り上がります！

- ① 所属社協のイチオシ成果物・冊子等(展示ブースでほしい人にご提供)
- ② 地元のイチオシグルメ・地場産品(但し、要冷蔵・冷凍品不可)
 (懇親会・餅まきの景品として参加者にお持ち帰りいただきます)

※ 右のフォームから紹介カードをダウンロードし書き込みの上、受付にてもちり品と共に渡してください。



一分科会

01

新人

10年後の自分へー今からアクション！

新人ワーカーの皆さん、こんにちは！

突然ですが、皆さんは「未来の自分の姿」を考えたことはありますか？毎日の業務に追われ、精一杯の方も多いのではないのでしょうか。

新人分科会では、近い将来「10年後」に焦点を当て、『キャリア10年の先輩ワーカー』をお招きし、これまでの歩みやこれからの展望、業務外の活動など、じっくり深掘りしていただきます。先輩ワーカーのお話から、「こんな風になりたい！」

「こんなことにチャレンジしたい！」

と思える自分にきっと出会えるはず。

少し立ち止まって、未来の理想の自分、カッコいい自分に会いにいきませんか？

ゲストスピーカー 東近江市社協 水谷友彦さん

対象 社協入職5年未満の新人ワーカー



02

災害支援

よっしゃよっしゃ 備えしとけば物も心も憂いなし
 ～紀伊半島水害から14年

今も昔も大切にしたい気持ちをつないで～

自然災害が頻発するなか、平時から災害に備え、被災者に寄り添い支援をしていくことは社協の普遍的なテーマです。

被災経験を踏まえ防災・減災の取組を進めるための災害法制の整備に併せて、災害ボランティアセンターなどの仕組みも考察を重ねられています。

また、くらしのあらゆる場面で、活動のシステム化が図られています。

こうした進化を遂げ続ける中であって、変わらないものは何か、社協が大切にしたい・注力すべきことは何か、今後も支援に携わる者として、大規模災害に備え・鍛える心(マインド)は何だろうかを語り合う分科会です。

コーディネーター 和歌山県社協 南出 考さん
 パネラー 和歌山県紀南地域の社協職員

対象 災害支援の経験問わず誰でも

03 社協人生集大成世代

集まれ50代！

私たちが伝え残すべきことを語り合おう!!



人生100年、生涯現役、退職も60歳から65歳に、更には70歳へ。“最期はいい人生だったと思えるような生き方をしたい”というのは誰もが願うこと。

50歳は折り返し地点であり、これまでの学びをこれからに生かす、地域のために、社協のために、そして後輩のために。

私たちが伝え残すべきことは何か？みんなで楽しく語り合います。

- ✓ トーク①「多様な生き方を知る」 仲間づくり
- ✓ トーク②「しくじりから学ぶ」 学びを伝える
- ✓ トーク③「私たちが伝え残すべきこと」
今の時代にあった人材育成の手法を考える

対象 50代。在籍年数は問いません。

05 相談支援における対応力

社協ワーカーの餅バケーションを高める??

全国の社協ワーカーの皆さん！

日々、相談や課題に向き合いながら、地域の声を大切にできていますか？社協にとって住民からの声は地域福祉の重要な資源です。自分たちにとって心地よく聞ける話だけを聞くのではなく、苦情・クレームも適切な対応と解決によって地域の協力者へと変わる可能性があります！またその厳しい声の奥底に、言葉にできない生活課題や生きづらさが隠れているかもしれません。

この分科会では、不満を持った相手の心理の理解、効果的な傾聴と共感、冷静な対応の話し方と姿勢を学びます。さらに、具体的な事例検討やロールプレイを通して、問題解決と関係修復のアプローチを実践的に習得し、対応力(テクニック・スキル)を磨くことを目指しています。住民から頼りにされるワーカーを目指し、互いに励まし合い、モチベーションを高め、明日からの活力につなげましょう！

コーディネーター 株式会社コメコム
代表取締役 橋本珠美さん

対象 傷つき疲れきった社協ワーカー
& 元気を分け与えられる社協ワーカー

有田のおばちゃんとは

よってって！ブース出現

初日は全体会会場付近

2日目はサブ会場に

つどい広報担当の有田のおばちゃんと奈良の新人職員たちの紀和連合(紀伊国と大和国)がいます！

休憩時間などにふらっとお立ち寄りください。

有田みかんを食べながら

皆さんの熱い言霊を残してってください！



居場所(IBASHO)

ええ塩梅の居場所づくり

「ここにいていいんだ」と思える心地のよい居場所、あなたにもありますか。社協職員が描く「居場所とは」

人によって逃げ場でもあり、前を向くきっかけにもなる居場所。多様な世代、さまざまな背景をもつ人たちが協働しながら創っていく過程そのものが居場所にもなります。

社協職員として地域資源をつかみ、課題の解決方法を考えられていますか。地域の方に真摯に向き合い、その力を信じ切れているでしょうか。振り返りは一緒にできていますか。

「地域にとってええ塩梅の居場所はこうすれば創っていけるのか」居場所づくりについて上野山先生と座談会形式でとことん本気で語り合います。共に成長できる分科会です。

講師 摂南大学 講師 上野山裕士さん

対象 居場所づくりに取り組んでいる人
& 居場所について真剣に考えたい人

社協基本要項(関コミ企画)

基本要項が語り継いできたこと

～住民主体を語り合い、未来につなぐために～

社協基本要項2025改定のプロセスのなか、関コミは「住民主体の組織」としての「社協のあり方」を見つめ直してきました。

その中で、私たちがこだわってきた「組織化」や「運動体・協議体」について、日々の実践に照らし合わせて考える大切さを確認しました。

この分科会では、日々の実践や思いから生まれる社協ワーカーの「実感」をもちよることで、「住民主体」ととことん語り、その醍醐味を深く学び合います。

困難な時代だからこそ、自分たちで考え合い、語り合い、決定し、行動する大切さを再確認し、住民の主体形成や自治に携わるワクワクを分かち合いませんか？

対象 部門を問わず、〈基本要項〉と日々の実感をつなげて考え、語り合いたい社協職員

主催者の「関コミ」って？

「社協基本要項(1992年制定)」の改正時、「住民主体の原則」が削除され、全国の社協ワーカーの運動により、住民主体は継承されたものの「理念」へと格下げ。この経過に危機感をもった関西の社協ワーカー有志が全国組織化を目指し、1994年1月に設立されました。

社協ワーカーの専門性向上の研究活動、会員交流、現場目線の課題提起等を実施。「全国社協職員のつどい」は、近畿2府4県を中心に持回りで開催してきました。

(第18回福岡県・第20回近畿2府4県合同を含む)

そんな中、和歌山県開催は今回が初っ！





懇親会の
お知らせ

定員100名

懇親会を希望する方は
早めにお申込を！

つどいに来たなら、つどっとこ！
1日目終了後、交流会を開催します。
宴席で距離をぐっと縮めたい！お仕事以外のお話もしてみたい！
どんな理由でも構いません。
和歌山の地で、ぜひつながりを広げていってください。

会場 ホテルルートインGrand海南駅前
1階 Restaurant NAGOMI
時間 18:30～20:30
会費 5,500円



【会場アクセス】

海南nobinos(メイン会場)

和歌山県海南市日方1525-6

公共交通機関の場合

JR海南駅 西口改札から西へ徒歩7分

お車の場合

阪和自動車道 海南東IC(御坊・白浜方面
からは海南ICを降りてください)より国道
を約5分



※ 受付：nobinos2階ギャラリー

※ サブ会場の海南保健福祉センターは、東側道路を渡るとすぐです。

【参加対象】

すべての社会福祉協議会職員

関西社協コミュニティワーカー協会賛助会員 (定員150名)

【参加費】

つどい参加費 4,000円 懇親会参加費 5,500円

【申し込み】

右のフォームに必要事項を入力してください。

【申込締切】

令和7年9月12日(金) 但し、定員になり次第締切

【お問い合わせ】

申込・支払関係 株式会社エスフェクト 兼 Printコーディネーター
代表 窄口真吾 Tel 050-3569-0511

内容・会場等 広報担当 有田市社会福祉協議会(宮本)
mail wakayama.wa.wa@gmail.com

スキャン・クリックして
↓↓いざ和歌山へ↓↓



お申込は
お早めに！
ホテル予約も
各自やで！



初の和歌山開催
満員御礼でつどいたい！

22